

授業科目名称 : 観光事業論

授業コード : 44610

授業科目英文名称 : Tourism Industry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	必修
担当教員			
井上 英也（実務経験のある教員）			
展開方法	講義		
ナンバリング	CA201		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	観光業界の各セクター（旅行業、航空業、宿泊業、交通業など）の基本的な知識を習得し、それぞれの業界が観光事業全体にどのように寄与しているかを理解できる。	授業内テスト	30%
情報収集、分析力	・観光業の現状と課題についての情報を収集し、信頼性の高い資料を選定できる。 ・観光市場の動向や観光客の行動パターンを分析し、マーケティング戦略や観光商品の設計に活かすことができる。 ・観光業におけるトレンドや競争環境に関するデータを適切に解釈し、将来の展望を予測できる。	レポート レポート プレゼンテーション	10% 10% 20%
コミュニケーション力	グループワークを通じて、自分の意見を論理的に表現し、他者の意見を尊重しながら協力できる。	授業貢献	10%
協働・課題解決力	グループ内で役割を分担し、協力して観光事業に関する課題解決に取り組むことができる。	授業貢献	10%
多様性理解力	持続可能な観光やエシカルツーリズムに関する多様な視点を学び、観光業における社会的責任を果たすための行動ができる。	授業貢献	10%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	1. 観光事業の基礎知識を習得し、観光業の重要性を理解する。 2. 観光業の主要な構成要素（旅行業、航空業、宿泊業、交通業など）の役割と相互関係を把握する。 3. 観光業の現状と将来の展望を考え、持続可能で革新的な観光業のあり方について議論する。 4. 観光業界の多様なキャリアパスを紹介し、将来の職業選択に役立つ知識を提供する。			
アクティブラーニングの類型	②④⑤⑥⑦			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	授業貢献：30% 質問、発言などの回数、グループワーク、プレゼンテーションなどを観察法で評価。 授業内テスト：30% 授業の理解度を問う。 レポート：20% 資料の選択、論旨・形式要件などをもとに評価。 プレゼンテーション：20% 内容、表現、聴衆の理解度などを基に総合的に評価。 尚、テスト、レポート、プレゼンテーションなどへのフィードバックは、授業中あるいはManabaにおいて個別におこなう。			
授業概要	本講義では、観光業界の基本的な知識と実務を学び、観光事業におけるさまざまな業界（旅行業、航空業、宿泊業、交通業など）の役割を理解する。受講者は、観光商品の開発や地域振興のためのアイデアを企画し、実際の業界動向を反映させた学びを得ることができる。 授業では、アクティブラーニングを中心に、ディスカッションやグループワークを通じて知識を深め、業界の専門家を招いたゲストスピーカー講義も実施する。これにより、観光業の現場における課題やトレンドを実践的に学び、将来のキャリアに役立つスキルを養う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：特に指定しない。 参考書：授業の中で適時指示する。 指定図書：「真実の瞬間」ヤン・カールソン（著）			
授業外における学修及び学生に期待すること	1. 観光産業の動向に関心を持ち、様々なメディアを通じた情報収集を習慣化する。 2. 観光産業でのインターンシップ、アルバイトなどでの実務経験を通じて、授業で獲得した知識を確認する。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	オリエンテーション	講義の進め方、講義内容、試験の方法などを説明する。	シラバスを読んでおく。
	2	観光事業の基礎	観光事業の概要と観光業界の基本的な構造について学び、観光事業の発展と経済への影響を考察する。	予習：関心がある観光事業を取り上げ調べてくる。

3	観光業の主要業界（旅行業界、航空業界、宿泊業界）	旅行業界、航空業界、宿泊業界の基礎知識とそれぞれの役割を理解し、観光業の構成要素としての旅行代理店、航空会社、ホテル業の関係性を考える。	復習：各業界の特徴をまとめる。
4	旅行業界の理解①	旅行会社の現状と課題について包括的に理解し、今後のあるべき姿を考察する。	予習：旅行会社を1社取り上げて調べてくる。
5	旅行業界の理解②（ゲストスピーカー）	旅行業界の現状と将来について旅行代理店の立場からの解説を受け、国内外の観光客の動向や最新のマーケティング戦略について学ぶ。	復習：ゲストスピーカーの所属する会社に関して、授業で学んだことをまとめる。
6	航空業界の理解①	航空会社の現状と課題について包括的に理解し、今後のあるべき姿を考察する。	予習：航空会社を1社取り上げて調べてくる。
7	航空業界の理解②（ゲストスピーカー）	航空業界の現状と将来について航空会社の立場からの解説を受け、国内外の観光客の動向やそれに対応したゲストサービスのあり方について学ぶ。	復習：ゲストスピーカーの所属する会社に関して、授業で学んだことをまとめる。
8	宿泊業界の理解①	宿泊業の現状と課題について包括的に理解し、今後のあるべき姿を考察する。	予習：ホテル会社を1社取り上げて調べてくる。
9	宿泊業界の理解②（ゲストスピーカー）	宿泊業界の現状と将来についてホテル会社の立場からの解説を受け、国内外の観光客の動向やそれに対応したゲストサービスのあり方について学ぶ。	復習：ゲストスピーカーの所属する会社に関して、授業で学んだことをまとめる。
10	地域観光とDMO (Destination Management/Marketing Organization)	地域観光の商品開発とその重要性を理解すると共に、DMOの役割について学ぶ。その上で観光地のマーケティング戦略と地域振興について考察する。	予習：DMOについて調べてくる。
11	持続可能な観光	観光業における持続可能性と環境保護の重要性を理解し、観光業の倫理的側面と観光客の意識について考える。また国内外で問題となっているオーバーツーリズムに関して理解する。	予習：オーバーツーリズムが問題となっている地域1か所を調べてくる。
12	観光業のキャリアパス	観光業界でのキャリアパスを業界ごと（旅行業、航空業、宿泊業など）に理解し、受講生各自の適合性について考える機会を提供する。	復習：最も関心のある業界でのキャリアパスを作成する。
13	観光業の未来予測	観光業の将来に関する予測と新たなトレンド（エコツーリズム、医療観光、デジタル観光など）を考える。加えて、観光業に影響を与える可能性のある外部要因（気候変動、経済状況など）を考察する。	復習：最も関心のある業界の未来を予測してまとめる。
14	観光業の課題と解決策	観光業が抱える課題を再確認し、その解決策をグループで議論する。各グループのアイデアを発表し、フィードバックを受ける。	予習：これまでの授業で学んだ観光業の課題をまとめる。
15	地域の新たな観光商品（発表）	あらかじめ決められたグループで観光商品を開発するアイデアを考えて発表する。	予習：グループ発表の準備をする。